

謹啓

初夏の候、会員各位におかれましては、益々ご清祥にてお過しのことと存じ上げます。平成30年度密教研究会学術大会を、平成30年7月13日(金)・14日(土)の両日にわたり、高野山大学において開催いたします。

今年は、特別講演の講師に高岡義寛先生(高野山大学客員教授)をお迎えし、特別講演「密教と科学の架け橋：空(宇宙)と海(生命)」も開催いたします。奮ってご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

合掌

平成30年6月

密教研究会会長 奥山 直司

平成 30 年度 密教研究会学術大会

特別講演

「密教と科学の架け橋：空(宇宙)と海(生命)」

講師 高岡義寛先生(高野山大学客員教授)

日時：平成30年7月13日(金)・14日(土)

場所：高野山大学

密教研究会事務局

〒648-0280 和歌山県伊都郡高野町高野山385 高野山大学内

TEL 0736(56)2921(代) / FAX 0736(56)2980(代)

7月13日(金)

【午前の部】(10:00~12:00)

第1会場(高野山大学2F 第3会議室)

- 1、グライ・ラマ5世の幼少期の夢とヴィジョン〜偉大なる宗教家の子供時代における内的世界
小松 光友(友子)(高野山大学大学院修士課程修了)
- 2、御流神道の体系化について―輝澤房鏡善を中心として―
木下 智雄(高野山大学大学院博士後期課程)
- 3、祖風宣揚会「済世病院」院長小林参三郎の精神的治療の実践と変遷
八木 高秀(東雲診療所仏教医学研究室研究員)
- 4、戦時下日本における「密教」イメージ
高本 康子(北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター共同研究員)

第2会場(高野山大学2F 第2会議室)

- 1、ヴァジラパーニが説く「菩提心の不漏」について
静 春樹(高野山大学密教文化研究所研究員)
- 2、ブダク写本チベット大蔵経における経函末部の解説文について
徳重 弘志(高野山大学密教文化研究所専任研究員)
- 3、仏頂尊の誕生―特に一字仏頂輪王を中心として―
磯部 武男(高野山大学大学院修士課程修了)
- 4、ヘーヴェジュラ系観想法における自加持―聖者流との関係を中心に―
松村 幸彦(東北大学大学院 助教)

【午後の部】(13:30~15:30、高野山大学2F 第3会議室)

- 1、『ピンディークドラマ』註『宝鬘』に関する一考察―著者問題の観点から―
大観 慈聖(京都大学大学院修了)
- 2、アバヤーカラグプタの『アムナーヤマンジャリー』とプトゥンの『サンブタ「広注」』について
菊谷 竜太(京都大学白眉センター 特定准教授)
- 3、中世日本密教における胎生学的教説と「邪義」―癡兀大慧の理解を中心に―
亀山 隆彦(龍谷大学世界仏教文化研究センターリサーチ・アシスタント)
- 4、一門普門について―論義書を中心に―
北川 真寛(高野山大学密教文化研究所 委託研究員)

【特別講演】(15:30~17:00、高野山大学2F 第3会議室)

「密教と科学の架け橋：空(宇宙)と海(生命)」

講師：高岡 義寛 先生(高野山大学客員教授)

総会(2F 第3会議室 17:00~)

懇親会(高野山大学大学ホール食堂 18:00~)

7月14日(土)

【午前の部】(10:00~12:30、高野山大学2F 第3会議室)

- 1、『瑜伽師地論』「声聞地」における無常の特徴とその働き―準備段階的修行から出世間道へ―
中山 慧輝(京都大学大学院博士課程)
- 2、瑜伽行派の種姓説における“aniyata”の理解―ヴァスバンドゥによる注釈文献を中心として―
岡田 英作(愛媛大学特定研究員)
- 3、ダシヤバラシュリーミトラ著『有為無為決択』第九章が伝える有部の法体系
―その内容と系譜をめぐって―
横山 剛(日本学術振興会特別研究員)
- 4、『牟尼意越狂傲論』の文中引用による梵文散逸仏典の回収―『十地経論』を中心に―
加納 和雄(駒澤大学専任講師)
- 5、四天王寺大学思頼堂文庫所蔵の「奉謝恩賜百屯綿兼七言詩一首并序」(拓本)について
大柴 清圓(高野山大学密教文化研究所研究員)

※発表時間は20分、質問時間は5分です。時間を厳守くださいますようお願い申し上げます。

※総会を欠席される方で、ご意見等ございます場合は、前日までに密教研究会事務局までお知らせください。なお、ご連絡がない場合は、会長に委任したものとさせていただきますので、その旨、ご了承ください。

※懇親会費は1名3,000円をご負担いただきます。当日受付にてお支払ください。会場は大学ホール(大学食堂)です。